

2017年度 第61回 作業療法全国研修会

第61回

～地域につながる作業療法の理論と実践～

新潟会場プログラム

会場：朱鷺メッセ

12月9日(土) 朱鷺メッセ 9:45～(受付開始 9:00～) 交流会19:00～

	第1ホール	第2ホール	第3ホール	第4ホール
1 日 目	9:45 開会式			
	10:00 協会指定講座1 官公庁講演 「地域につながる作業療法の理論と実践 ～地域包括ケアシステム構築に向けた、地域につながる作業療法士への期待～」 小林 毅（厚生労働省老健局高齢者支援課）			
	11:30 公開講座：鹿児島県作業療法士会の取組み 「児童発達支援における作業療法士の視点、地域と繋がる役割～アイディア集作成とその活用を通して～」 井上 和博（鹿児島大学）			
	12:30 昼休み			
	13:30 「脊髄損傷者に対する活動参加へのアプローチ～2020東京パラリンピックを目指す車椅子テニス少女のOT展開～」 松本 琢磨（神奈川リハビリテーション病院）	14:30 「“家に帰りたい”の真意～ナラティブから読み解く那人らしさとは～」 上田 章弘（介護老人保健施設 恵泉）	15:30 「子どもの家族の思いをくみながらの支援～発達障害領域におけるMTDLP実践から～」 平野 大輔（国際医療福祉大学）	16:30 「精神障害領域におけるMTDLPの実践」 島田 岳（医療法人清泰会メンタルサポートそよかぜ病院）
	14:40 「脳卒中患者の生活支援～障害の捉え方と介入方法～」 佐尾 健太郎（山梨リハビリテーション病院）	15:40 「高齢者の下部尿路機能障害(排尿障害)に対する評価とアプローチ～排尿自立支援・転倒予防を目的として～」 今西 里佳（新潟医療福祉大学）	16:40 「児童の特性に応じた教育支援に必要な作業療法士の視点～学習と生活のマネジメント～」 辻 薫（大阪発達総合療育センター）	17:40 「地域生活支援の理解と支援のポイント」 鶴見 隆彦（湘南医療大学）
	15:50 「神経難病患者の活動と参加に求められる作業療法士の視点～実践を通して～」 楠原 敦子（国立病院機構 高松医療センター）	16:50 「医療機関や高齢者施設におけるシティング介入と作業療法士の視点が果たす意義」 岩谷 清一（永生病院）	17:50 「発達障害児における問題行動への対処」 岩崎 清隆（ぶねうま群馬）	18:50 「多様な生き方に対応する作業療法の可能性」 遠藤 真史（那須フロンティア地域生活支援センターゆずり葉）
	17:00 協会指定講座2 協会長講演 「地域につながる作業療法の理論と実践」 中村 春基（日本作業療法士協会 会長）			
	19:00 交流会			

12月10日(日) 朱鷺メッセ 9:00～

	第1ホール	第2ホール	第3ホール	第4ホール
2 日 目	9:00 「安全な交通社会に貢献する作業療法士の役割」 藤田 佳男（千葉県立保健医療大学）	10:00 「予防的・健康増進作業療法プログラム「65歳大学」の概要と実践紹介」 小林 法一（首都大学東京）	11:00 「子どもとの遊びにおけるtherapeutic use of self」 土田 玲子（NPO法人 なごみの杜）	12:00 「精神障害領域における作業を用いた就労支援の実践例」 芳賀 大輔（NPO法人日本学び協会ワシモア）
	10:10 「作業療法の魅力～その人らしい生活を支える技能とは～」 杉原 素子（国際医療福祉大学）	11:10 「暮らしに寄り添う認知症への対応」 比留間 ちづ子（若年認知症社会参加支援センター ジョイント）	12:10 「乳児期から小学校時期までの、発達障害や運動障害がある子どもたちへ幼稚園・保育園、小学校やその他の地域資源に参加するための作業療法支援の実際」 松本 政悦（よこはま港南地域療育センター）	13:10 「作業療法再考～therapeutic use of selfと見える化～」 富岡 詔子（岡田公民館）
	11:20 協会指定講座3 公開講座：模擬ケア会議 「地域ケア会議における作業療法士の役割」 佐藤 孝臣（株式会社ライフリー）			
	12:30 閉会式			

※講座内容及び講師につきましては、調整させていただいている講座もございます。確定いたしましたら、全国研修会ホームページ、協会誌などで随時掲載させていただきます。
※主催者及び講師の都合により、講演日程、内容等を変更させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。